

シンポジウム

『首都直下地震』：被害想定をどう読み解き、実際に起こり得る現象をどう理解すべきか ～想像力を深めるべき災害事象～

今回のシンポジウムでは、首都直下地震を対象として、内閣府や東京都をはじめとする既存の地震被害想定に関して、その読み解き方を理解するとともに、地震被害想定技術の不完全性、そもそも自然現象が内包する不確実性に焦点をあて、現在、十分に描ききれていない災害現象の可能性、被害様相に着目し、首都直下地震で起こりえる現象について理解を深めることを目的とします。東京オリンピックに向けて防災対策の拡充が進められようとする中、その前提となる被害の様相を不確実性を含めて理解することを通して、フェールセーフの分厚い東京の実現に寄与していくための議論を行います。なお、2014年5月開催のシンポジウム「被害想定をどう読み解き、減災の取り組みにどう活かすか」の続編である。

主催：都市計画委員会 地域防災・復興小委員会

日時：2015年1月28日（水）13:30～17:00

会場：建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

<プログラム>

■主旨説明：加藤孝明（東京大学）

■話題提供

1. 首都直下地震の被害想定とその対策：藤山秀章（国土交通省水資源管理部長）

2. 地震火災の危険性と大量死の可能性：加藤孝明（東京大学生産技術研究所）

3. 首都直下地震の企業活動への影響（仮）

：指田朝久（東京海上日動リスクコンサルティング）

4. 人口集積地区の混乱の可能性：廣井悠（名古屋大学）

5. ライフライン途絶と混乱の可能性：丸山喜久（千葉大学）

■パネルディスカッション

・コーディネーター：越山健治（関西大学）

■まとめ：牧紀男（京都大学）

定員：160名

参加費：会員 2,000円 会員外 3,000円 学生 1,500円（資料代含む／当日払い）

Web申込み：<https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=1024> よりお申し込みください。

問合せ：事務局 研究事業グループ 浜田 TEL 03-3456-2051